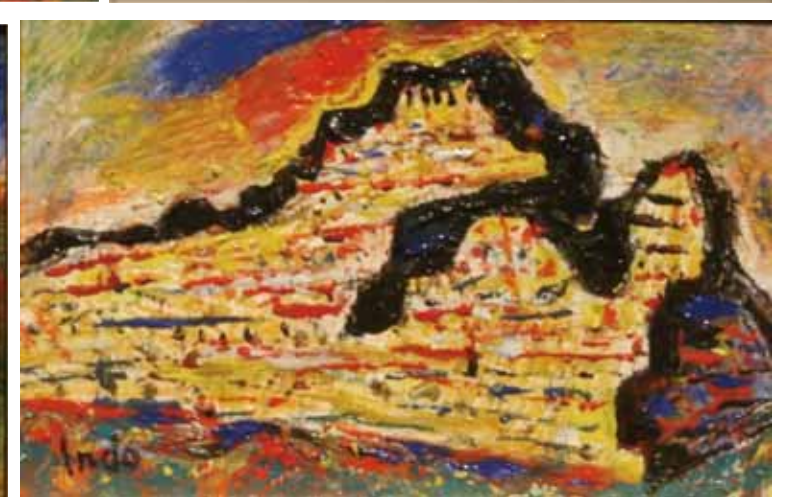
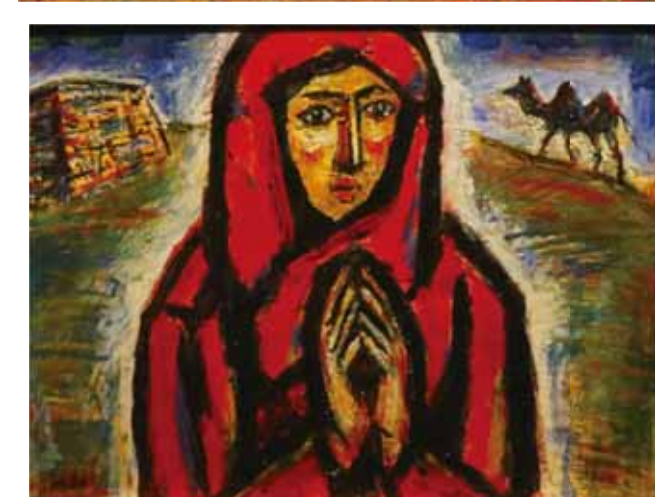




犬童徹 個展

十一月二十八日 至十二月三日

茶屋町画廊



今回の展覧会は二紀会の所属で、委員をされており、大阪教育大学の名誉教授でもある犬童徹（いんどうとおる）先生による画廊の企画展です。

作品は大きな物は30号から小さな物は0号まで、大小様々な油彩が31点並び、水彩が8点並びました。その他にも、ペンダント、棒タイ、先生の版画の作品を載せたカレンダーなども展示されました。30号の大作をメインにし、その他の物で2段で展示をしたりなどのリズムをつけ、ボリュームがありながらも、ゆつたりと見れる展示になりました。

犬童先生は『馬』の作品という印象がありますが、今回はここ1・2年で旅行されたという異国情緒溢れるシルクロードの作品をメインに飾られました。山や人、動物、遺跡などが犬童先生の力強いタッチで描かれ、その場の雰囲気やそこで生活している人達のエネルギーなどが画面を通して、見ている私達にも伝わってきます。特に現地の人が多く描かれており、その人達は生活を営んで居る場所で描かれていたり、遺跡の前で描かれていたり、動物と描かれていたり様々な角度からの『人』が見る事が出来ます。

今回は犬童先生の躍動感やエネルギーといった今まで通じる所も有りながら、『人』という新しい一面も見ることが出来る展示になりました。